R06年度 学校経営構想

学校経営構想

公教育の立場
・日本国憲法
・教育基本法・教育関係法
・小学校学習指導要領
・福岡県学校教育振興プラン
・第5次嘉麻市教育アクションプラン

学校の教育目標
郷土を愛し
体験を自己実現の力に変える児童の育成
～「気づき、考え、実行する」熊っ子～

児童生徒，地域の実態
・明るく素直であるが主体性に課題
・保護者・家庭が協力的
・地域行事が盛んで学校に協力的
（地域の学校としての大きな期待）

目指す教師像
・学び続け自己研鑽に励む教師
・児童、同僚、地域と汗する教師
・児童に寄り添う心豊かな教師
・児童や地域から信頼される教師

目指す児童生徒像
○基礎・基本の学力が確実に身についた児童（知識・技能）
○主体的に考え、共に学び合い、課題を解決できる児童
（思考力・判断力・表現力）
○自他や郷土を大切にし豊かにつながりあおうとする児童
（学びに向かう力・人間力）

目指す学校像
・学ぶ意欲と笑顔の溢れる学校
・言葉や環境が美しく整った学校
・郷土を愛し希望に満ちた、安心・信頼される学校

教育課題
○興味、関心を持ち、課題を見つけ、自ら課題を解決していこうとする力
○多様な人々と多様な方法でのびのびと考えを伝え合う力
○自分のため、なかまのため、学校や郷土のため周囲と協力して何かに挑戦してみようとする力

経営課題
・複式学級校における学力向上を目指す授業の究明
・地域との連携による社会に開かれた教育課程の充実と実践（コミュニティースクールの推進・充実）
・小中一貫教育の推進に向けた小中・小小連携の取組実施

重点目標
○【学力アップ】意欲をもって主体的に学び続ける児童の育成
○【社会力アップ】気後れせずに周囲に接し、活動等を通して他者（友だち・保護者・地域等）とよりよくつながろうとする児童の育成
○【生活力アップ】基本的生活習慣・学習規律が身についた児童の育成

経営の重点
〈組織運営に関すること〉
・学校運営協議会による熟議を通した地域ともにある学校づくりを進めるため、学校・家庭・地域の課題・目標・活動・評価の共有化
〈教育課程に関すること〉
・小規模特認校及びコミュニティースクールとして、地域学校協働活動を軸とした教育課程(体験活動)の積極的な工夫・改善
・教育課程の質的・量的管理(編成・実施・評価）の徹底
〈研修に関すること〉
・授業力の向上を目指す効果的な複式授業の追究
・小中一貫教育を踏まえ、校区部会を柱とした校区が連携した研修の推進

教育課程編成の基本方針
コミュニティースクールであることを柱にして、児童に夢や目標を意識させるために、ふるさと学習やキャリア教育を中心とした中学校進学を見通した教育課程の編成及び施行する

学力向上プラン全体計画

校務運営の重点

教務運営の重点

重点的に取り組む内容（小）
全学年：当該学年学習内容未定着『0』
学ぶ意欲を育み学びの自立の確立
「熊小授業の進め方」の徹底と工夫改善

第1学年：学習習慣・規律の定着、基礎・基本の徹底
・人の話を最後まで聞き、進んで発表できるようにする
・言語能力の基礎を身に付ける（MIMの活用）

第2学年：「読む・書く・聞く・話す」の基礎力完成
・人の話を聞き、自分の考えを持ち、進んで発表できるようにする

第3学年：「考える、考えを書く」力の育成
・友達と一緒に自分の考えを作り、根拠を加えて発表できるようにする

第4学年：「考える、考えを書く」力の発展
・友達の意見を参考にして自分の考えを作り出し、根拠を加えて発表できるようにする

第5学年：自律的な学びの定着
・友達との交流により自分の考えを付加修正し、根拠を明確にして発表できるようにする

第6学年：自律的な学びの完成
・友達との交流により自分の考えを修正・発展させ、根拠を明確にして発表できるようにする

各部の重点目標
教務・研修部
学ぶ意欲と 学力向上につながる 方策の重点化と 徹底、ＩCTの更なる活用
複式授業研究の深化、自然・ 社会体験活動の確実な評価

生徒指導、情報・文化教育部
規範意識の醸成(挨拶,返事,言葉遣い,学校の約束等)、望ましい人間関係の構築
学びの環境づくり 、情報(モラル） 教育の質的向上、 読書の質的向上
個のニーズに応じた特別支援教育の充実、ソーシャルトレーニングの充実

健康教育、人権・同和教育部
コオーディネーショントレーニング を基本に据えた体力向上プラン の実施・ 評価
安心や人権意識・ 豊かな心を育く む教育活動の創出と 高学年のモデル化

庶務部 教育活動の充実に向けた環境整備と計画的予算執行

各係の重点目標

学年経営の重点